

名前

書いてつとすることをはつきりさせ、段落を考えて、文章を書くことができるようにしましょう。

① 、サンドイッチ用のパンのかた面めんだけに、マーガリンをぬります。できるだけムラのないように、ていねいにぬります。

② 、四角や三角など、食べやすい大きさに切って、お皿おわんにもりつけたら完成かんせいです。

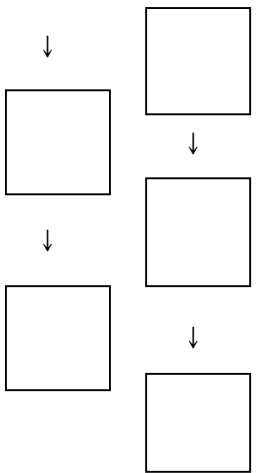
③ みんな、おいしそうに食べてくれたので、とてもうれしかったです。また作って、家族かぞくを喜よろこばせてあげられたらいいな、と思いました。

④ 昨日きのうは日曜日だったので、おうちの人のかわりに、お昼ひるごはんを作りました。親せきの人から、たくさん野菜さいをもらったので、その野菜をたっぷりはさんだサンドイッチにしました。これから、作り方をしようかいます。

⑤ 、レタス、きゅうり、トマトを水できれいにあらいます。レタスは食べやすい大きさにちぎります。きゅうりは、うすくななめに切ります。トマトは、五ミリメートルくらいの輪切わりにします。トマトは、皮をむくと食べやすいです。それらを、マーガリンをぬったパンにはさみます。

★上のメモをよく読んで、次の問題に答えましょう。

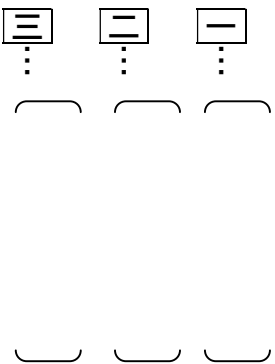
一 上のメモは、日曜日にサンドイッチを作ったときのことを説明する文章を書くためのものです。文章を正しく清書せいするには、どの順番にしたらよいでしょうか。ならばかえて、□に数字を書きましよう。



メモの内容をよく読むと、清書の順番じゆんのヒントになる言葉がたくさん出てくるよ！



二 に合う言葉を、次の の中から選えらびましよう。



次に・最後に・まず

一 上のメモは、日曜日にサンドイッチを作ったときのことを説明する文章を書いた
 めのもの。文章を正しく清書するには、どの順番にしたらいでしょうか。な
 らべかえて、□に数字を書きましょう。



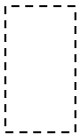
☆ 文章は、「はじめ」「なか」「おわり」の三つできています。

「はじめ」…筆者が書きたい話題についてふれています。

「なか」…話題について、くわしく書かれています。つなぎ言葉（**を**）使ったり、だ
 ん落をつけたりすると、よりわかりやすくなります。

「おわり」…筆者が、話題について思っていることと考えていることについてまとめ
 ています。

二 □一～□三に合う言葉を、次の



の中から選びましょう。

□一… **まず**

□二… **最後に**

□三… **次に**



☆ 言葉と言葉や、文と文をつなぐはたらきをする言葉を、つなぎ言葉といいます。つな
 ぎ言葉をつかうと、文の意味がはっきりします

つなぎ言葉の種類

つなぎ言葉には、いろいろな種類があります。

【例】しかし **けれども** **でも**は、前の言葉や文とちがう

「こと」を言いつつ「こと」に使います。

・ **そして** **それから**は、前の言葉や文と同じことが続

いている時に使います。

う。日記や作文など、文章を書く時に使えるようになりましょ



「じっくり しっかり
 くり返し」の6ページを
 参考にしてください。



つながりの「よ、ほ、正しく使い方はよさげなびんご。

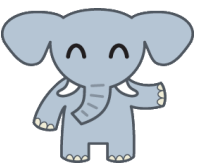
- 一 ① ☆ **だから** ↓ 前のことながら、後のことながらの理由になっているとき
☆ **しかし** ↓ 前のことごと、反対のことごとがらを後につなげるとき
- 二 ② ☆ **それから** ↓ 前のことからの後に、後のことごとをつづけるとき
- 三 ① ☆ **なぜなら** ↓ 前のことからの理由を、後につづけるとき
- 四 ② ☆ **それなら** ↓ 前のことごとをうけて、後のことごとを決めるとき
☆ **それとも** ↓ 前のことごと、後のことごとのどちらかをえらぶとき
- 五 ② ☆ **すると** ↓ 前のことごとが原因になって、後のことごとが変化するとき
☆ **それでも** ↓ 前のことごとから期待されたことごと、反対のことごとが後につづけるとき

おぼえしおぼえしやうー



「よ、ほ、正しく使い方はよさげなびんご。」
 「よ、ほ、正しく使い方はよさげなびんご。」
 文と文をつなぐはたらきをします。「よ、ほ、正しく使い方はよさげなびんご。」
 つながりの「よ、ほ、正しく使い方はよさげなびんご。」
 文の意味がはっきりします。

- ☆ **しかし** **けれども** **でも**は、似た意味のつながりです。
- ☆ **そして** **それから**は、似た意味のつながりです。



ほかにも、つながりの「よ、ほ、正しく使い方はよさげなびんご。」
 日記や作文で、つながりの「よ、ほ、正しく使い方はよさげなびんご。」
 を使ってみよう。

「じっくり しっかり くり返し」の
 7ページを参考にしてください。

書く「つ」とする「と」ときをはっきりさせ、段落を考えて、文章を書くことができるようにしよう。

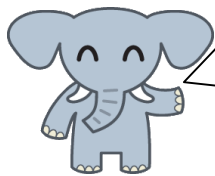
つなぎの「と」ばを使って書きましよう。

★ 例題にならって、短い文章を作りましよう。

例題

● けしゴムをなくしてしまった。しかし、
〈解答例〉 けしゴムをなくしてしまった。しかし、友だちがかしてくれた。

文をつなぐことばを使
うと、伝えたいことがはっ
きりつたえられるよ。



一 おかしを買いに行った。けれども、

けれど、

二 ケーキを食べた。そのうえ、

そのうえ、

三 ごはんを食べ終わった。そこで、

そこで、

四 とびらが開いた。すると、

すると、

五 おせんべいがいいですか。それとも、

それとも、



つなぎの「じゅぽ」を使って書きまじよう。

〈答えの例〉

一 おかしを買いに行った。けれども、お店はしまっていた。

☆ けれども＝はんたいの意味をくわえる。おかしを買いにいつでも、買えなかったのだね。

二 ケーキを食べた。そのうえ、アイスクリームも食べた。

☆ そのうえ＝「おまけに」の意味。ケーキだけでなく、アイスクリームも食べたんだね。

三 ごはんを食べ終わった。そこで、テレビを見た。

☆ そこで＝「そついうわけで」とおなじ意味。食べ終わったから、テレビを見たんだね。

四 とびらが開いた。すると、見たこともないたからの山がそこにあった。

☆ すると＝「そのとき」とおなじ意味。とびらが開くと、たからが見えたということ。

五 おせんべいがいいですか。それとも、クッキーがいいですか。

☆ それとも＝どちらかえらぶときに使う。「二」では、おかしのおしゆるいを入れよう。

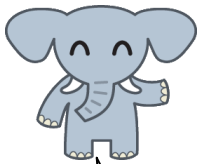
おぼえしおきまじよう！



「つなぎの「じゅぽ」は、文と文の関係をはつきりさせたり、じゅぽの順序をあらわしたりします。

つなぎの「じゅぽ」を使った文作りはうまくできたかな？

つなぎの「じゅぽ」はたらきを考えて、おもしろい文を作ってみてくださいね。



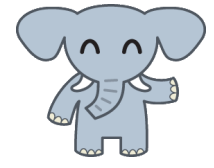
名前

Blank box for writing the student's name.

書「いつとすることをはっきりさせ、だん落を考えて、文章を書くことができるようにしよう。」

文の終わりをどうえましよう。

文を書くときは、文の終わりの形をどうえましようね。



★ 次の文の終わりを「である・だ（た・だった）」にそろえて全文を書きましよう。

例題

● 今日は雨だ。だから遠足は中止です。

〈解答例〉今日は雨だ。だから遠足は中止だ。

一 昨日、お母さんと買い物に行った。そこで、おかしを買ってもらいました。

Blank box for writing the answer to the first example.

二 食べようと思っていたケーキがない。お兄ちゃんが食べたにちがいありません。

Blank box for writing the answer to the second example.

三 ドッジボールで、後ろから当てられてしまった。とてもくやしかったです。

Blank box for writing the answer to the third example.

四 となりの席の子があくびばかりしている。きっと夜ふかしたのでしよう。

Blank box for writing the answer to the fourth example.

名前

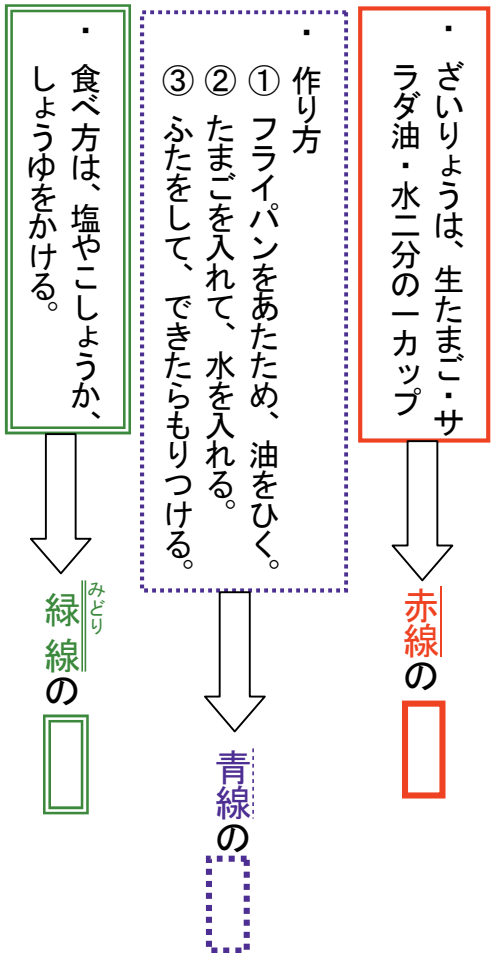
書「つとをする」ときははっきりさせ、段落を考えて、文章を書くことができるようにしよう。

★ だん落に分けて書きましよう。

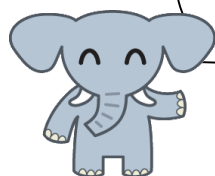
★ つぎの文章は、一つのだん落になっています。

おいしい目玉やきの作り方を説明します。材料は、生たまごサラダ油少々、水二分の一カップです。まず、フライパンをあたためて油をひきます。油がフライパンになじむように、フライパンを回してゆするのがこつです。そして、たまごをわってフライパンに入れます。それから、水を入れてふたをしてしばらく待ちます。半じゆくにした場合は、黄身が固まりすぎないように早めに火を止めます。形をくずさないようにお皿にもってでき上がりです。食べる時に塩やこしようにふったり、しょうゆをかけたりするとおいしく食べられます。みなさんも作ってみてください。

一次の三まいのカードは、右の文章を書いたときのメモです。それぞれのカードの内容が書かれているところをさがして、でかこみましょう。



意味のまとまりごとに、だん落に分けて書いてみましょう。



二 右の文章の「書き出し」の文と「結び」の文をでかこみましょう。

三 「書き出し」「赤」「青」「緑」「結び」の順に、だん落に分けて清書しましょう。

用紙は次のシートにあります。



だん落に分けて書きましよう。

「じっくり しっかり
くり返し」の 6ページ
を参考にしてください。

おいしい目玉やきの作り方を説明します。

材料は、生たまごとサラダ油少々、

水二分の一カップです。

まず、フライパンをあたためて油をひきます。油がフラ

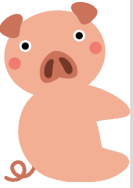
イパンになじむように、フライパンを回してゆするのがこつです。そして、たまごをわってフライパンに入れます。それから、水を入れてふたをしてしばらく待ちます。半じゅくにした場合は、黄身が固まりすぎないように早めに火を止めます。形をくずさないようにお皿にもってでき上がりです。

食べる時に塩やこ

しょうをふったり、しょうゆをかけたりするとおいしく食べられます。

みなさん

も作ってみてください。



おぼえておきましよう！

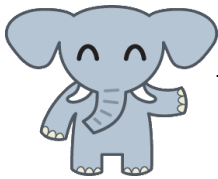
だん落について

- 1 だん落は**意味のまとまり**です。いくつかの文が集まって一つのだん落になります。
- 2 だん落は、**時・場所・じゅんじよを表す言葉**などで分けます。
- 3 だん落に分ける時は、**行をあらため(改行)**、**一字下げ**て書き始めます。

☆ 青線のメモカードと作文をくらべると、作文はカードよりもくわしくなっているのがわかります。カードには書きたいことを短くメモをし、作文では読む人に分かりやすく説明するように書くといまいでしょ。

	す	よ		で	く	り	す	か	た	パ	す		の		
み	。	う	食	す	ず	す	。	ら	ま	ン	。	ま	一	材	お
な		ゆ	べ	。	さ	ぎ	半	、	ご	を	油	ず	カ	料	い
さ		を	る		な	な	じ	水	を	回	が	、	ッ	は	し
ん		か	時		い	い	ゆ	を	わ	し	フ	フ	プ	、	い
も		け	に		よ	よ	く	入	っ	て	ラ	ラ	で	生	目
作		た	、		う	う	に	れ	て	ゆ	イ	イ	す	た	玉
っ		り	塩		に	に	し	て	フ	す	パ	パ	。	ま	や
て		す	や		お	早	た	ふ	ラ	る	ン	ン		ご	き
み		る	こ		さ	め	い	た	イ	の	に	を		と	の
て		と	し		ら	に	場	を	パ	が	な	あ		サ	作
く		お	よ		に	火	合	し	ン	こ	じ	た		ラ	り
だ		い	う		も	を	は	て	に	つ	む	た		ダ	方
さ		し	を		っ	止	、	し	入	で	よ	め		油	を
い		く	ふ		て	め	黄	ば	れ	す	う	て		少	説
。		食	っ		で	ま	身	ら	ま	。	に	油		々	明
		べ	た		き	す	が	く	す	そ	、	を		、	し
		ら	り		上	。	か	ま	。	し	フ	ひ		水	ま
		れ	、		が	形	た	ち	そ	て	ラ	き		二	す
		ま	し			を	ま	ま	れ	、	イ	ま		分	。

だん落に分けて書きましょう。
清書用紙



☆「、」や「。」が一番上のマスになる時は、一番下のマスの文字にそえて書きます。

名前

書くこととすることをはっきりさせ、段落を考えて、文章を書くことができるようにしましょう。

一 次の文章は、西山さんが「矢印」について調べたことをほう告した文章です。□の中に、当てはまる言葉を□の中からえらんで書きましょう。

ある日の下校のとき、まわりを見てみると、たくさんの矢印がありました。それで、矢印を集めて、どんなものがあるのか□。

集めた矢印は、全部で三十です。はじめは、形で分けようといがあることに□。でも、説明を読み直しているうちに、はたらきのちがいが分けることにしました。□。それで、はたらきのちがいで、矢

①は、「こちらの方向ですよ。」と、方向を教えるものです。一番たくさんありました。

②は、「ここですよ。」と、場所などをさして教えるものです。

①より近い所で、はっきりと場所を教えているかんじです。ドアの□。今度は、家の中の矢印もさがして、集

ちよつとしたきっかけで始めたのですが、調べてみるとおもしろくなる□。今度は、家の中の矢印もさがして、集めてみたいと思います。

考えました □ 分かりました □ 調べることにしました □ 気がつきました □

二 西山さんは、事がらごとに段落を分けて書きました。西山さんの文章の組み立ては、次のうちのどれですか。あてはまる方に○をつけましょう。

- () 調べたきっかけ↓感想↓調べてわかったこと
- () 調べたきっかけ↓調べてわかったこと↓感想
- () 調べてわかったこと↓調べたきっかけ↓感想

三 調べたきっかけを 赤線の□、調べて分かったことを 青線の□、感想を 緑線の□で囲みましょう。

小学校三・四年生「書く」ワークシート⑥の答えと解説

一 次の文章は、西山さんが「矢印」について調べたことをほう告した文章です。□の中に、当てはまる言葉を○の中からえらんで書きましよう。

ある日の下校のとき、まわりを見てみると、たくさん
の矢印がありました。それで、矢印を集めて、どんなもの
があるのか **調べました**。

集めた矢印は、全部で三十です。はじめは、形で分けようと

考えました。でも、説明を読み直しているうちに、はたらきのちが
いがあることに **気がつきました**。それで、はたらきのちがいで、
矢印を分けることにしました。

①は、「こちらの方向ですよ。」と、方向を教えるものです。一番
たくさんありました。

②は、「ここですよ。」と、場所などをさして教えるものです。
①より近い所で、はっきりと場所を教えているかんじです。ドアの
とつての所などにありました。

ちよつとしたきっかけで始めたのですが、調べてみるとおもしろく
なることが **分かりました**。こんどは、家の中の矢印もさがして、集
てみたいと思います。



☆ほう告する文章でよく使う書き
表し方をおぼえましよう。

二 西山さんは、事がらごとにだん落を分けて書きました。西山さんの文章の組み立て
は、次のうちのどれですか。あてはまる方に○をつけましよう。

- () 調べたきっかけ↓感想↓調べてわかったこと
- (○) 調べたきっかけ↓調べてわかったこと↓感想
- () 調べてわかったこと↓調べたきっかけ↓感想

「じっくり しっかり くり返し」の六ページを参考にしてください。

名前

書こうとすることをはっきりさせ、だん落を考えて、文章を書くことができるようにしましょう。

次の文章は、西山さんが「四年一組の読書生活」についてクラス全員にアンケートを取り、調べたことをほう告した文章です。

《 》
わたしは、先生から四年生の読書量が昨年度にくらべて少ないと聞きました。そこで、四年一組の読書生活について調べ、読書量をふやす方法を考えることにしました。

《 》
調べる方法は、クラス三十人にアンケートを取り、「あなたは、6月に何さつの本を読みましたか。」という問いに答えてもらいました。このクラスの読書量は昨年と比べてどうなのか、気になったので、この問いを立てました。

《 》
結果として分かったのは

- ① 一さつも読まなかった人が昨年は三人、このクラスにはいない。
- ② 四さつ以下の人が、昨年は六人、このクラスは三人。
- ③ 十五さつ以上読んだ人が、昨年度は十人、このクラスは五人である。

《 》
この結果から

- ① ②からは、読書量の少ない人が少ないということが分かりました。全体として多くの人が本を読んでおり、これは良い点。
- ③からは…

一 の中に当てはまる言葉を

の中からえらび書きましょう。

である **良い点と問題点** 次の三つです **ではないかと思えます**

二 西山さんは、事がらごとにだん落を分けて書きました。《 》にはだん落ごとの小見出しがついています。だん落に合う言葉をえらんで 《 》の中に書きましよう。

《調べる方法》

《調べる目的》

《結果から考えたこと》

《調べた結果》

小学校三・四年生「書く」ワークシート⑦の答えと解説

次の文章は、西山さんが「四年一組の読書生活」についてクラス全員にアンケートを取り、調べたことをほうこくした文章です。

《調べる目的》

わたしは、先生から四年生の読書量が昨年度に比べて少ないと聞きました。そこで、四年一組の読書生活について調べ、読書量を増やす方法を考えることにしました。

《調べる方法》

調べる方法は、クラス三十人にアンケートを取り、「あなたは、6月に何さつの本を読みましたか。」という問いに答えてもらいました。このクラスの読書量は昨年とくらべてどうなのか、気になったので、この問いを立てました。

《調べた結果》

結果として分かったのは **次の三つです**。

- ① 一さつも読まなかった人が昨年は三人、このクラスにはいない。
- ② 四さつ以下の人が、昨年は六人、このクラスは三人 **である**。
- ③ 十五さつ以上読んだ人が、昨年度は十人、このクラスは五人である。

《結果から考えたこと》

この結果から **良い点と問題点** があると考えました。

- ① ②からは、読書量の少ない人が少ないということが分かりました。全体として多くの人が本を読んでおり、これは良い点 **ではないかと思えます**。
- ③からは…

一 [] の中に当てはまる言葉を

[] の中からえらび書きましょう。

である 良い点と問題点 次の三つです ではないかと思えます

二 西山さんは、事がらごとに段落を分けて書きました。《 》にはだん落ごとの小見出しがついています。段落に合う言葉をえらんで《 》の中に書きましよう。

《調べる方法》

《調べる目的》

《結果から考えたこと》

《調べた結果》

☆調べたことをほう告する文章の書き方を覚えよう。



名前

書くこととすることをはっきりさせ、だん落を考えて、文章を書くことができるようにしましょう。

南さんは、読書生活についてアンケートをとり、調べた結果をまとめています。アンケートの集計結果をもとに、調べた結果と結果から考えたことを書きましょう。

調べたこと（ぎ問）

クラスのみんなはどんな読書生活を送っているのか


アンケート

あなたはどんな種類の本をよく読みますか。一つ選んでください。

- ア ぼうけん小説
- イ すいり・たんてい小説
- ウ 友じょうの本
- エ 昔話
- オ 科学や知しきの本

調べた結果を書いてみよう

上の書き方を参考にしなね。



		集		計		
		オ	エ	ウ	イ	ア
その他	2人	2人	3人	6人	8人	9人

- 調べ方
- ・調べ方はアンケートです。
 - ・アンケート用紙にある五つのこの目から一つ選んでもらいました。
- 結果（分かったこと）
- ・結果は「○人。」が○人。「」が○人…の順でした。
 - ・「」が一番多いこと（少ないこと）が分かります。
- 追加調査（もっと調べたいこと）
- ・「」が多かったので、選んだ人に「」について直せつしつ問してみました。

結果から、分かったこと考えたことを書いてみよう

名前

相手に伝えたいことがよく分かるように、手紙を書くことができるようにしましょう。

手紙の書き方

★ 注意書きを見て手紙を書きましょう。

① 初めのあいさつ

季節の言葉を入れたり、相手の様子をたずねたりします。

初めはじめのあいさつ

一字下げて

Blank writing area for the first greeting.

② 本文(主文)

伝えたいことを書きます。手紙の中心です。

本文

一字下げて

Blank writing area for the main body of the letter.

③ 終わりのあいさつ

「お元気で」などと書きます。

終わりのあいさつ

④ 後付け

日付、自分の名前、相手の名前の順で書きます。

平成 年 月 日

自分の名前

様 さま

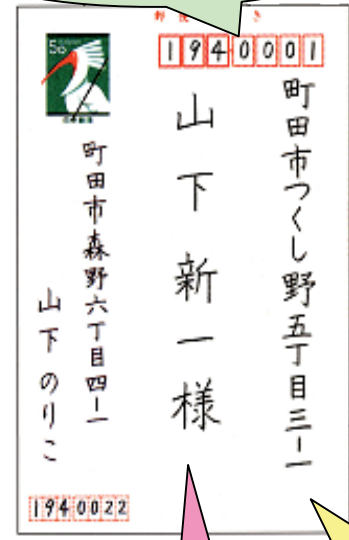
「じっくり しっかり くり返し」の6ページを参考にしてください。

はがきの書き方

名前

Blank box for writing the name.

☆ お手本を見て、はがきにあて名を書きましよう。



相手のゆうびん番号

はがきのあて名

相手の住所

相手の名前は、真ん中に大きく書きます。最後に「様」をつけましよう。

自分の住所、名前、ゆうびん番号

☆ あて名は、消えにくいように、ボールペンやネームペンで書きましよう。

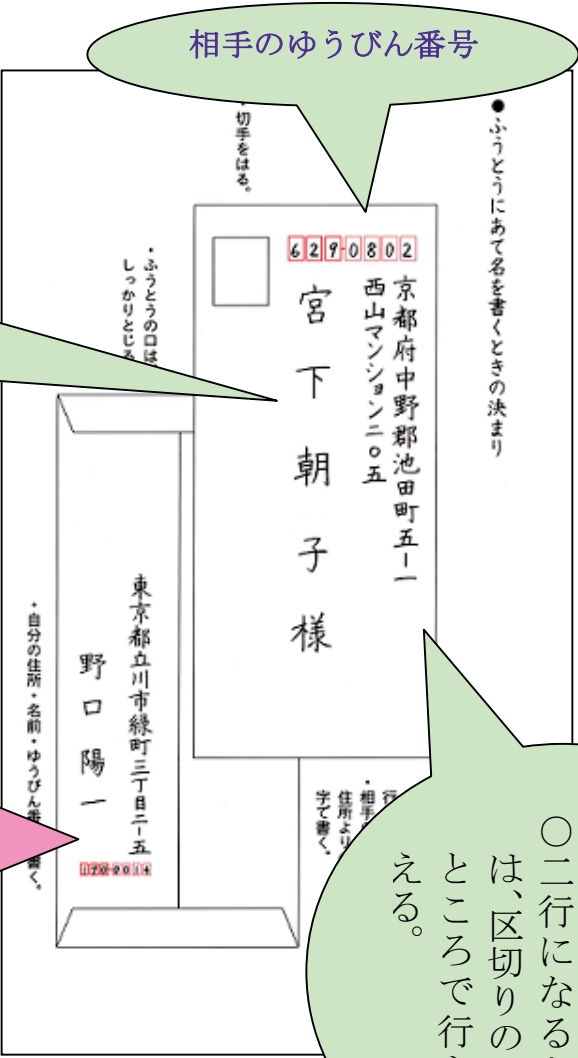
A large rectangular area for writing. On the left is a green stamp box labeled '切手' (Postage). To its right are seven empty boxes for the recipient's postal number. At the bottom are two dashed-line boxes for the sender's address.

名前

ふう書の書き方

☆ お手本を見て、ふうどうのあて名を書きましよう。

ふうどうのあて名のお手本



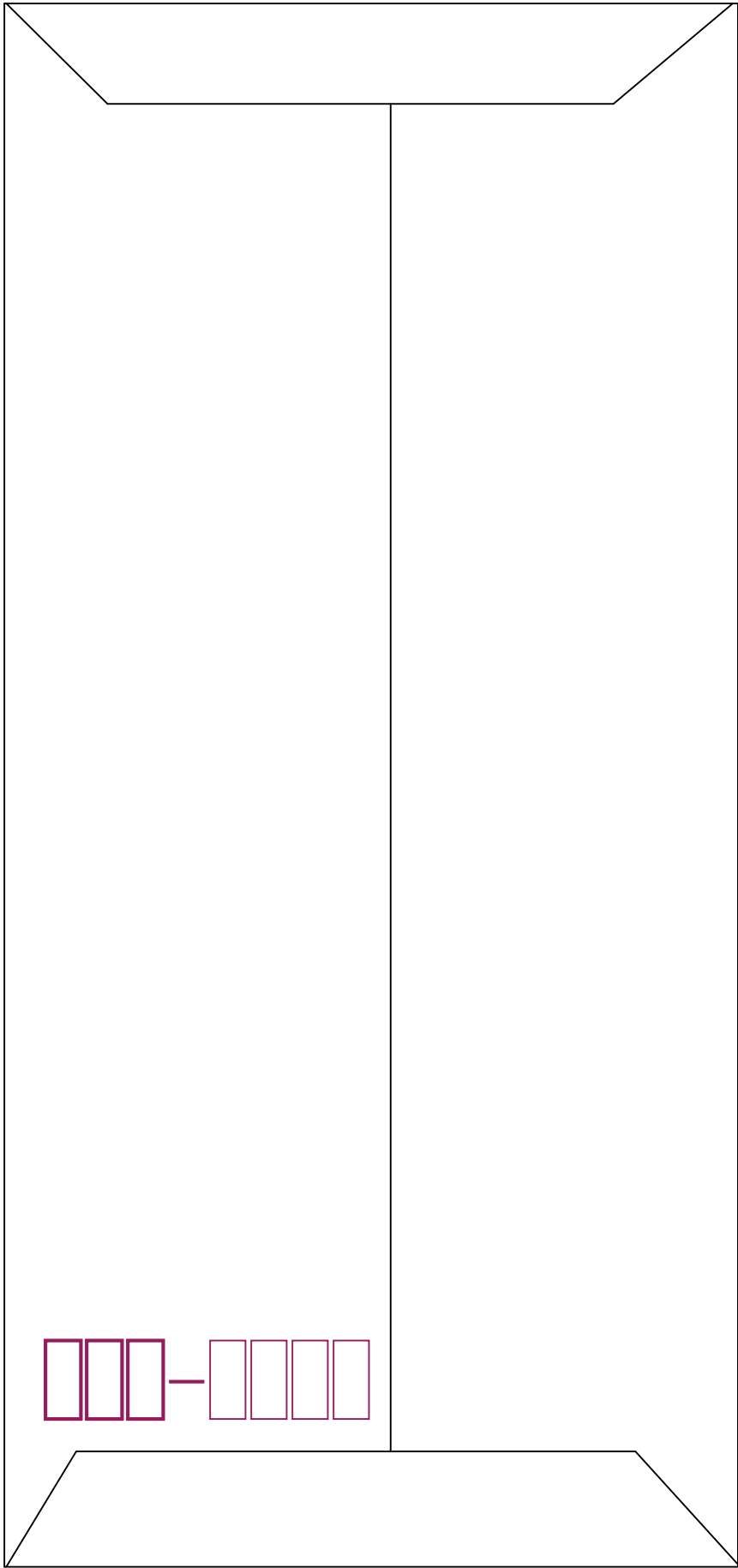
相手の名前
大きくはつきりと。最後に「様」をつけましよう。

自分の住所
名前
ゆうびん番号は、うらに書きます。

相手の住所
○右がわになるべく一行に書く。
○二行になるときは、区切りのよいところで行をかえる。



ぶしよのおもて



5, 1, 9, 1, 4, 1, 5